

## 令和元年度 全国獣医師会会長会議の会議概要

I 日時：令和元年10月4日(金) 14:00～17:20

II 場所：ホテルルポール麹町3階「マープル」

III 出席者：

**【地方獣医師会】**

54 地方獣医師会ほか

**【日本獣医師会】**

会長：藏内勇夫

副会長：村中志朗

副会長兼専務理事：境 政人

地区理事：高橋 徹，浦山良雄，鳥海 弘，安田辰巳，

宮野浩一郎，玉井公宏，木原敏博，

篠原公七，草場治雄

職域理事：西川治彦，大林清幸，横尾 彰，加地祥文，

佐伯 潤

監 事：宇佐美 晃，小山田富弥，柴山隆史

オブザーバー：北村直人（顧問・日本獣医師連盟委員長）

酒井健夫（顧問）

IV 議 事：

**【説明・報告事項】**

- 1 北海道胆振東部地震に関する件
- 2 2019 動物感謝デー in JAPAN “World Veterinary Day”に関する件
- 3 獣医学術学会年次大会に関する件
- 4 2022 アジア獣医師会連合（FAVA）大会に関する件
- 5 特別委員会に関する件
- 6 部会委員会に関する件
- 7 当面の課題への対応方針（ロードマップの策定）に関する件
- 8 獣医学術地区学会に関する件
- 9 マイクロチップ登録料に関する件
- 10 その他の報告・連絡事項

**【連絡事項】**

- 1 当面の主要会議等の開催計画に関する件
- 2 日本獣医師連盟の活動報告

V 会議概要：

**【会長挨拶】**

藏内会長から、大要次のとおりの挨拶がなされた。

**〔藏内会長挨拶〕**

本日は大変お忙しい中、令和元年度の全国獣医師会会長会議にご出席をいただき厚く御礼申し上げます。全国の

地方獣医師会の会長をはじめ、役員、事務局の皆様には日頃から日本獣医師会の事務・事業推進に大変なご協力、ご理解をいただいております。重ねて心から厚く御礼申し上げます。

現在、各地区の獣医師会大会に出席させていただいているが、それぞれの地区で大変温かく迎えていただいております。各大会が大変盛り上がっていることを嬉しく、また心強く思っている。この地区大会への出席は台風との戦いであり、必ず、近くに台風があったり横を通っているとといった状況であるが、今年はいまだ何とかなる大会に出席できている。残りの地区大会においても台風が来ないことを強く祈っている。

昨年、岐阜県で発生した豚コレラは関東でも発生したことから新たな段階を迎え、農林水産省は新しい対応を行うこととなった。地域を限定して豚コレラワクチン接種の準備を進めているが、われわれは一日も早く豚コレラを撲滅すると同時に、感染の拡大を抑止し、一丸となってこの問題に取り組んでいくことが一番重要なことであると思っているので、各地域におかれても連携を深め、しっかりとした体制を築いていただきたいと願っている。

また、動物愛護管理法の一部改正及び愛玩動物看護師法の法案成立における北村顧問の大変なご尽力に対し、日本獣医師会として感謝と敬意を表す次第である。この2つの法案がわれわれが目指すものとなるように、われわれも日本獣医師会、地方獣医師会が一体となって尽力していかなければならないと考えている。この2つの法案成立はわれわれの長年の大きな課題であり、日本獣医師会に大きな2つの柱を加えていただいたという思いである。

また、明日は会場を二子玉川から駒沢公園に戻し、2019 動物感謝デー in JAPAN を開催する。明日も本日より暑くなる予想であるが、台風が来るよりは良いと思うので、皆様の引き続きのご協力を心からよろしくお願い申し上げます。

結びになるが、本日の会議では全国の地方獣医師会会長の皆様方にお集まりいただき、これまでの日本獣医師会の業務運営や今後の課題についてご意見を交換いただく場であり、大変貴重な機会であるので、どうか忌憚のないご意見をお出しいただき、今後の地方獣医師会、日本獣医師会の発展に結びつけることができるような会となるようお願いを申し上げ、挨拶に代えさせていただきます。

## 【顧問挨拶】

北村顧問から、大要次のとおりの挨拶が行われた。

### 〔北村顧問挨拶〕

6月25日に開催された通常総会では再び顧問の大役を仰せつかった。顧問の名に恥じないように、酒井健夫顧問と一緒に日本獣医師会を盛り立て、社会貢献を行う獣医師会のサポートをさせていただきたいと思っている。4期目の藏内体制であり、藏内会長を中心として55の地方獣医師会の会長方が一丸となって社会貢献できるよう努めていただくことを重ねてお願い申し上げながら、ご挨拶とさせていただきます。

## 【議長・副議長任命】

全国獣医師会会長会議の議長・副議長の選任については「地方獣医師会会長の中から会長が任命する」こととされていることから、藏内会長から前任期に引き続き、議長に高橋三男会長（埼玉県獣医師会）、副議長に玉井公宏会長（和歌山県獣医師会）が任命された。

## 【議長・副議長挨拶】

高橋三男議長、玉井公宏副議長の就任に当たり、大要次のとおり挨拶がなされた。

### 〔高橋議長挨拶〕

今から7年前、藏内会長が毅然と日本獣医師会会長に立候補された際、地方獣医師会と日本獣医師会が同じ方向性を共有し、声なき声を日本獣医師会の隅々まで聞くことによって会を活性化したいという声を耳にしたことが昨日のように思い返される。会長に就任された後、獣医師会組織が一体となった課題対応の推進、全国の獣医師会の意思統一、本会と全国の獣医師会の連携・連帯を高めるための場としてこの全国獣医師会会長会議を位置付け、本会議に正副議長を置くことを提案され、理事会においてご決定された。ただいま藏内会長からこの全国獣医師会会長会議の議長を拝命し、大変身の引き締まる思いである。玉井副議長とともに二人三脚で公平なる議事進行をお誓い申し上げ、議長就任の御礼とお願いを兼ねた挨拶とさせていただきます。

### 〔玉井副議長挨拶〕

皆様方からいただいたご意見の議論が十分に進められるよう高橋議長を補佐してまいりますので、よろしくお願ひ申し上げます。

## 【正副議長就任】

高橋議長、玉井副議長が就任し、以下のとおり議事が進められた。

## 【議 事】

### 〔説明・報告事項〕

#### 1 北海道胆振東部地震に関する件

境副会長から、本地震災災害に対して、本会が設置した「平成30年北海道胆振東部地震動物救護活動等支援金」の収支の状況とともに、残金については九州災害時動物救援センターの支援等に充てる旨が支援の御礼とともに報告された。

また、高橋 徹北海道地区理事から、支援に対する御礼と本地震災災害対応の概略について説明が行われた。

#### 2 2019 動物感謝デー in JAPAN “World Veterinary Day” に関する件

境副会長から、「2019 動物感謝デー in Japan “World Veterinary Day”」の開催概要について説明された。

#### 3 獣医学術学会年次大会に関する件

境副会長から、令和元年度大会の開催概要及び関係者への周知依頼が行われた。

#### 4 2022 アジア獣医師会連合（FAVA）大会に関する件

境副会長から、10月16日から開催されるアジア獣医師会連合（FAVA）代表者会議において、2022年10月に開催を予定している「第22回アジア獣医師会連合（FAVA）大会」の開催地として立候補を行うことが説明された。

#### 5 特別委員会に関する件

#### 6 部会委員会に関する件

境副会長から、今期の特別委員会及び職域別部会委員会の各委員会の担当副会長が報告されるとともに、各委員会の検討テーマと委員のメンバーが紹介された。

#### 7 当面の課題への対応方針（ロードマップの策定）に関する件

境副会長から、特別委員会及び職域別部会委員会等での検討事項についての今後の検討の工程、成果目標や課題等を取りまとめたロードマップを作成した旨説明がなされた。

**意見1：**今後、地方獣医師会において動物感謝デーのようなイベントを開催する際に参考としたいので、各地方獣医師会においてどのようなイベントをどのような根拠で開催しているか、日本獣医師会で調査していただきたい。

**回答1：**各地方獣医師会にアンケートを行い、とりまとめて公表する。

**質問2:** アニマルクラスターという名称について教えていただきたい。

**回答2:** 「クラスター」という言葉は中央畜産会の事業で使用し始めた言葉であり、畜産関係は感染症や国際協定等の厳しい局面の中にあるが、畜産業界を関係業界みんなで盛り上げよう、総合力を発揮しようといったことから使用されている言葉である。われわれ獣医学界においても、飼い主や関係者を含めた色々な方々の協力を得て、お互いWin-Winの関係が作れるのではないかということで、このような名称を使用しようと考えている。

## 8 獣医学術地区学会に関する件

境副会長から以下の説明が行われた。

これまで説明に努めてきた、本会が制定した「獣医学術地区学会運営規程」の廃止と、それに伴う「日本獣医師会学会運営規程」の一部改正については、令和元年9月に総務委員会が取りまとめた報告書において、本件に関する今後の対応として2つの案が提示されたことから、各地方獣医師会あてに本2案に係る意見を聴取した。その結果、2案に対する賛成、反対の意見が分かれる一方、両案ともに反対、両案の併用等の意見が出された。

この調査結果を踏まえ、令和2年4月1日に施行することとしていた「獣医学術地区学会運営規程」の廃止及び「日本獣医師会学会運営規程」の一部改正は見送ることとし、当面の対応として総務委員会等で今後検討を行い具体的な対応案を提出するとともに、これに並行して、公益事業としての位置付け等の課題について、内閣府公益認定等委員会事務局と協議することとした。

については、これらの検討及び協議の結果を踏まえ、新たな獣医学術地区学会の運営体制については、各地方獣医師会での調整期間を経て令和4年4月からの施行を目標とすることとした。

**意見1:** 行政の公益事業の判断が曖昧であり基準が明確ではないと感じている。日本獣医師会が行っている獣医学術学会事業は公益を目的として実施しているという意見は曲げず、日本獣医師会は会員に対して学会や生涯教育等の事業を通じて責任を持って教育や指導を行っていく、という方針を一貫して頑張っていただきたい。

**回答1:** 日本獣医師会と地方獣医師会は運命共同体であるので、公益法人担当当局に対してこれまでどおり、われわれ日本獣医師会の考え方を述べていく。

**意見2:** 獣医学術地区学会の開催について、一般社団法人の存在をないがしろにせず、今後の対応について折

衷案を検討していただきたい。

**回答2:** 一般社団法人と公益社団法人が平等、かつ一緒に獣医学術地区学会を開催できるよう協議を進めていく。

## 9 マイクロチップ登録料に関する件

境副会長から、このたびの消費税増税に伴い、これまで税込み1,000円等としていたマイクロチップの登録料を、令和元年10月1日より税込み1,050円に統一する旨の説明がなされた。

## 10 その他の報告・連絡事項

### 豚コレラに関する件

境副会長から、これまでの豚コレラに関する日本獣医師会の対応について報告された。その後、岐阜県獣医師会の石黒利治会長から、岐阜県における豚コレラの発生に関して、これまでに実施された検査の結果から想定される豚コレラの伝播状況や、野生イノシシによる感染状況、今後求められる対応内容等について報告が行われた。

続いて、埼玉県獣医師会の中村 滋副会長から、埼玉県における豚コレラの発生状況について報告が行われるとともに、同獣医師会の鴻巣 泰専務理事から、より詳細な豚コレラの発生状況やその影響、防疫措置の内容をはじめ、埼玉県獣医師会と県当局の対応状況について詳細に報告が行われた。

### 〔連絡事項〕

#### 1 当面の主要会議等の開催計画に関する件

境副会長から、当面の関係会議等の開催日程について説明がなされた。

#### 2 日本獣医師連盟の活動報告

北村直人日本獣医師連盟委員長から、日本獣医師連盟の活動が報告された。

現在、国家戦略特区諮問会議において、今秋の間に全国で医学部、獣医学部をさらに新設する意見をまとめるよう提案が出されている。本件については藏内会長のご指導をいただき、正副会長と連携しながら情報の共有に努め、全国の地方獣医師会会長の先生方に対し随時、情報提供していきたいと考えている。いずれにしても、この問題は政治的な問題になると思われ、日本獣医師連盟は随時、国会議員の先生方と連携を取り対応していくので、各地方獣医師会におかれても、地元の国会議員の先生方と強く連携していただくよう、お願い申し上げます。

〔各議題の説明内容の詳細については、642頁から掲載の「令和元年度 第4回理事会」を参照のこと。〕